

3 協議事項

(2) 「生と性のカリキュラムの推進」＝小学校・中学校版＝ 学校との連携における取り組みについて

1 概要

小牧市では子どもたちの命と性をめぐる実態から、学校保健教育研究会と母子保健推進協議会が連携し、「小牧市生と性のカリキュラム」作成に取り組み、平成 19 年度から「生」（人間らしくいきいきと共に生きるこころ）と性（健やかな体と命の大切さ）を学ぶことで「心豊かにいきいきと生きる力を持つ子の育成」を目指し、市内の小中学校でカリキュラムが実践されている。また、平成 27 年度からは高等学校においても生と性のカリキュラムを推進している。

専門的な内容を含む小学 2 年生と中学 3 年生、高校生の内容について、外部講師として「生と性のカリキュラム」を実施している。

< 協議事項 >

右記のとおり学校と連携を図り実施をしている授業について、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合の機会が持たず、これまでと同様の実施ができないと想定されます。

小牧市で成長する子どもたちが皆同じ内容で学習できる機会とされていることから、今年度の授業をどのように実施するとよいかご意見をお願いします。

各学年の授業詳細

主題	対象	目的	内容	令和元年度実績
「おへそのひみつ」	小学二年生とその保護者 (複数クラスで実施)	母体内の赤ちゃんの成長と出産の様子、生命誕生における命の強さと大切さに気づき、自分や相手を大切にする心を養う	・命のはじまり ・胎児の成長 (胎児人形抱っこ) ・赤ちゃんが生まれる体験	16校 2737人
「素敵な大人になろう～性感染症の予防～」	中学三年生の生徒 (学年集合で実施)	性感染症の学習を通して、男女の交際のあり方や、お互い相手に思いやりを持つことの大切さに気づく。	・性感染症について(水を用いた実験) ・お互いを尊重し合った付き合いについて	8校 1097人
「望まない妊娠と性感染症について」	高校生 ※対象学年は学校により異なる(学年集合で実施)	望まない妊娠や性感染症についての知識を持つとともに、自分や相手の生き方を大切にする気持ちを持ちを育む。	・性感染症、望まない妊娠について ・妊娠適齢期について ・自己肯定について	3校 432人